



Where deals are made

企業向け

機密データ管理ガイド



機密データとは？

データはビジネスが管理しなければならない最も貴重な資産の一つです。正しい使い方をすれば、情報を洞察に変えることができます。しかし、間違った使い方をすれば、損害を与える可能性があります。

企業にとって、機密データはあらゆるビジネス活動の一部です。従業員は、自分たちのデータが漏れいしないことを信じています。ビジネス・パートナーは、データが必要な範囲でのみ共有されると信じています。株主は、データが正確で妥協のないものであることを期待しています。

複数のユースケースにおいて、正当なステークホルダーと共有し、コラボレーションする場合でも、データの安全性とコンプライアンスを確保するためにリスクを最小限に抑えることは、今日の世界ではかつてないほど重要なことなのです。

機密データ

- 個人情報
- 独自研究
- 営業秘密
- 従業員情報
- 知的財産権データ
- 業種別データ
- 機密データ
- 財務データ

ヒント 組織評価：取締役会の席であれ、最前線であれ。ディールメイキングやバックオフィスなど、機密データは私たちの周りにあふれており、効果的に管理する必要があります。

複数のプロジェクト

企業は役割が拡大していることを実感しており、プロジェクトはかつてないほど多岐にわたっています。つまり、より多くの人々が、より多くのデータを扱うことになります。

戦略的リポジトリ

- セキュアなファイル共有
- 倉庫管理
- 監査
- 取締役会とのコミュニケーション
- 規制当局への報告書

ファンドレイジング

- 資金調達
- IPO
- リファイナンス
- リキャピタライジング
- スピンオフ
- SPACs

リストラクチャリング

- デットファイナンス
- 破産・清算
- 事業分離/カーブアウト
- ターンアラウンド
- 不良債権

セルサイドM&A

- オークション
- 1対1の販売
- 決算後の資金調達
- デュアルトラックプロセス
- 事業分離

バイサイドM&A

- オークション
- ロールアップ
- 1対1の買収
- PMIs
- パートナーシップ & コラボレーション

ヒント プロセスの標準化：組織内の機密データ管理はより活発で複雑になっています。企業が成功するためには、管理とコンプライアンスを維持しながら、俊敏性と可視性を実現する業務方法を構築する必要があります。

複数のステークホルダー

複数のプロジェクト、複数のメンバー、社内も社外も、全員が結果に利害関係があります。そして、全員がプロジェクトの成功を求めています。

ステークホルダーの管理やそれぞれのプロジェクトの安全性と成功を確保するために何が必要でしょう？

企業は、あらゆる種類の戦略的プロジェクトのリーダーとして歩み始めています。その役割はますます多様化し、より幅広い数々の戦略の中で成功を収めるための働き方を構築する必要があります。

ステークホルダー

社外

- 監査役
- 株主
- 法律顧問
- ファイナンシャル・アドバイザー
- コンサルタント

社内チーム

- 投資家向け情報
- 財務・会計
- コーポレート・ディベロップメント
- 役員
- 法務
- 人事部

ヒント コラボレーションを実現：成功の鍵は、デジタルトランスフォーメーションと並行して、社内外の強力なコラボレーションにあります。



複数のリスク

企業はどのようにプロジェクトの種類や規模、または関係者の数や場所も関係なく、機密データの安全性、セキュリティ、コンプライアンスを確保するのでしょうか？

機密データへの不注意な開示や不正アクセスは、重大な被害をもたらす可能性があります。安全性を確保できなかった組織と、データの個人的な所有者の両方に対してです。そのため、これらのリスクを最小限に抑えることが不可欠です。

リスク

- 刑事責任
- 風評被害
- コンプライアンス違反の罰金
- 個人情報保護
- 不正行為
- 競合他社の情報漏洩
- 知的財産権の侵害

ヒント リスクの予測：テクノロジーを活用した積極的なアプローチで、一元化を図り、ワークフロー・プロセス・コラボレーション比重を標準化し、混乱とリスクを最小化する必要があります。

複数の課題

複数のプロジェクトが進行している場合、複数のデータセットとデータの種類が関わり、同時に複数の課題もできてきます。企業にとって最も大きい悩みは、機密データを安全に保存、管理、共有し、かつコンプライアンスと管理能力を維持する方法です。



課題 1

コンプライアンス

複数のプロジェクトやデータが複数の場所で、社内外の複数の関係者によって保存・使用されるため、コンプライアンスは必須であり、評価や評判に影響を与える可能性があります。企業はどのようにすれば、進化する法律や標準をすべて満たすことができるのでしょうか。

課題 2

セキュリティ

データの安全性は、機密性の有無にかかわらず、成功に不可欠です。しかし、データの保存、共有、コラボレーションにおいて、本当に安全であることを確認する方法はあるのでしょうか。

課題 3

コラボレーション

プロジェクトが増えれば増えるほど、より多くの関係者がより多くの場所に関わるようになります。プロジェクトの成功、関係者間のコミュニケーションに左右されることがよくあります。企業はどうすれば、簡単かつ安全にデータを共有できるのでしょうか。また、どのような場所でも、コンプライアンスを守り、安全かつ確実な方法でコラボレーションを行うにはどうしたらよいのでしょうか？

課題 4

データ管理

データを管理することで、安全、安心、そしてコンプライアンスを維持することができます。複数のプロジェクトがある場合、これは達成不可能な目標に思えるかもしれませんが、実際はどうでしょうか？

ヒント 常時から対応に備える：機密データ管理はチームワークが必要です。新しいテクノロジーは、社内外のコラボレーションやタスクの自動化を支援しますが、それは、すべてのプレイヤーが、コンプライアンスを順守し、安全かつセキュアな方法で共通認識が完全に一致である場合に限られます。

一つのソリューション

プロジェクトが複数あると、複雑になってしまうことがよくあります。しかし、もう大丈夫です。複雑な取引の管理も、機密データの保管も、Datasiteにすべてお任せください。

Datasite

コンプライアンス

最も厳しいグローバルなセキュリティ基準を活用し、自宅、オフィス、外出先など、どこからアクセスしてもデータの安全性を確保します。

- SSAC 16 SOC 2 タイプII 認証
- GDPRおよびCCPAに準拠
- EUデータホスティング

セキュリティ

プロジェクトからデータや文字または、役割やフォルダ、コンテンツで権限を管理します。プロジェクト、ファイル、フォルダーを横断して、14の言語で潜在的なポリシーの影響をスクリーニングします。

- OCR検索
- 墨消しツール
- アクセス権限管理

コラボレーション

社内外の関係者と協力して、プロジェクトを成功させます。効率的で安全な作業を実現します。1つのチーム、1つのプラットフォームで、ファイルの共有、質問の管理、進捗の分析を行い、1つの基準を保つことができます。

- 統合Q&A
- カスタムダッシュボード
- セキュアなファイル共有
- オンライン・ドキュメント・コメント機能

管理性

他の人が見ること、することに制限を設け、プロジェクトのあらゆる側面を把握することができます。カスタマイズ可能なツールで、ミスを減らし、管理し続けることができます。

- トラッキングの一元化
- メール送信の効率化
- 電子透かし
- AIによる墨消し

クラウドストレージとDataverseの比較

Dataverseは、市販のソリューションよりも高いレベルのセキュリティ、機能性、サービスサポートを提供し、他のソリューションでは不可能な機密性、アクセス性、コラボレーションをサポートします。

クラウドストレージ

最小限のセキュリティ要件で、簡単にアクセス可能

物理的なドライブと比較して安価なソリューション

ファイルの保存と共有のための基本機能を備えたシンプルなインターフェース

友人との動画共有など、プライベートやソーシャルな利用を想定した構成

Dataverse

機密情報を保持するための多面的なセキュリティレベル

幅広いプロジェクト規模やユーザーに対応する拡張性

再編集、分析、Q&Aを含む統合機能。OCR検索、AIによるインデックス作成

様々な複雑な取引時のビジネスニーズに対応した目的別設計



Datasiteを選ぶ理由



50年 にわたる実績

業界、セクター、取引ごとに、世界中の専門家チームを活用できます。



革命的 なテクノロジー

企業とともに設計し、企業によってテストされ、企業によって信頼されているソリューションで、取引を成立させましょう。



随時 サポート

電話、チャット、Eメールで24時間365日、18ヶ国語で対応します。



鉄壁の セキュリティ

業界最高水準のセキュリティ認証で顧客のデータを保護します。



柔軟性の 高いソリューション

お客様のニーズ、プロジェクトの種類や規模、複数の目的に合わせた価格設定とソリューションを提供します。

顧客一覧



今すぐ始める

世界中の企業が機密データをDatasiteに託している理由については、当社のウェブサイトをご覧ください。

無料相談、またはオンラインによるデモについてはお気軽にご連絡ください。



#Wheredealsaremade

Get in touch, visit www.datasite.com **or contact:** info@datasite.com | **EMEA** +44 20 3031 6300 | **AMERS** +1 888 311 4100 | **APAC** +852 3905 4800

©Datasite. All rights reserved. All trademarks are property of their respective owners.

DS-1.242-01

 **Ddatasite**[®]